

製品名: PGC1 β ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21495**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:113kD;Observed MW:113kD

抗原情報

遺伝子名	PPARGC1B
別名	
遺伝子 ID	133522.0
SwissProt ID	Q86YN6
免疫原	ヒト PGC1 ベータの合成ペプチド

背景

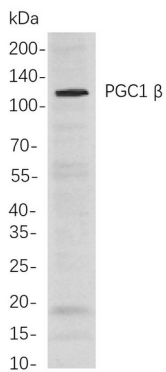
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エストロゲン受容体 α 、核呼吸因子 1、グルココルチコイド受容体など、複数の転写因子および核内受容体の活性を刺激する。コードされるタンパク質は、脂肪酸化、非酸化的グルコース代謝、および

エネルギー消費の調節に関与している可能性がある。このタンパク質は、前糖尿病および2型糖尿病患者においてダウンレギュレーションされている。この遺伝子の特定のアレル変異は、肥満発症リスクを高める。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2010年3月]

研究分野

-

画像データ



MCF7細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (PGC1 β ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。